
令和7年度タイラギの生息状況について（55点調査結果）

令和7年11月28日

佐賀県有明水産振興センター

1. 目的

この調査は毎年1回実施し、有明海湾奥部（干潟域を除く）におけるタイラギの生息状況を広域的に把握するものである。

2. 調査年月日

令和7年10月13～27日に実施。

3. 調査方法

- ① 潜水器船で、合計55地点を調査。
- ② 各調査地点の海底に、100m のロープを潮流方向に張り、ロープ沿いの幅1m の範囲内（100㎡）にみられた生物を採取。
- ③ 採取した生物は、水産振興センターに持ち帰り、殻長、重量等を測定。

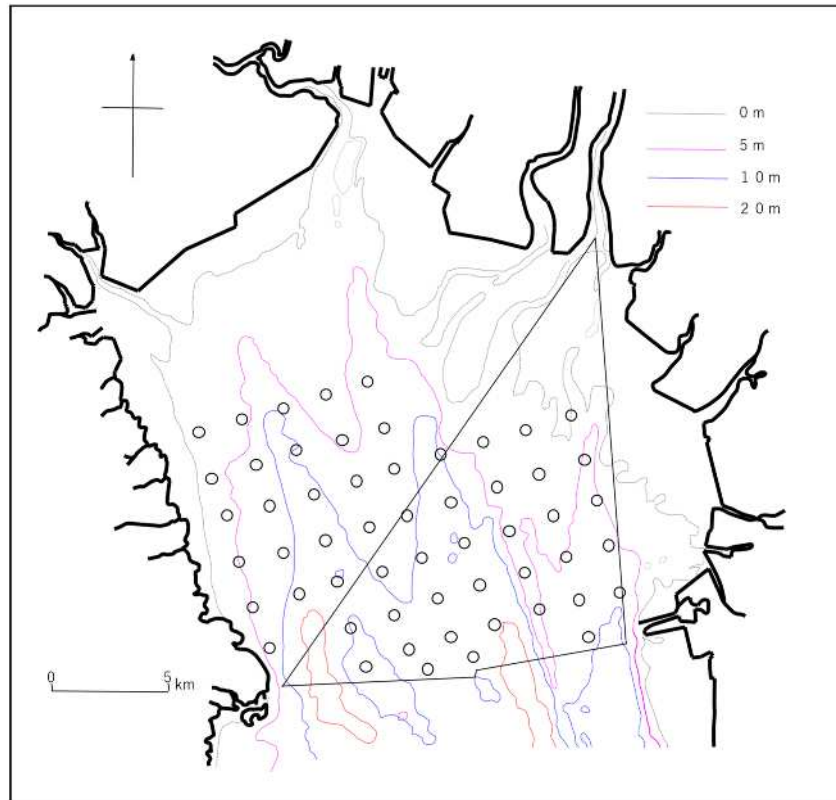
4. 調査結果

① タイラギ成貝の生息状況

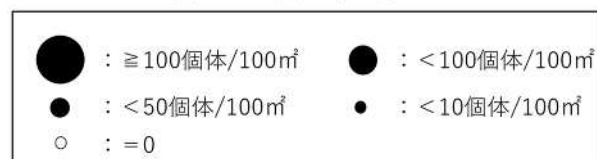
図1に示したとおり、成貝は確認されなかった。

② タイラギ稚貝の生息状況

図2に示したとおり、稚貝は55地点中15地点で確認された。100㎡当たりの採捕数は最高で13個であった。平均殻長は、64mm（35～116mm）であった。

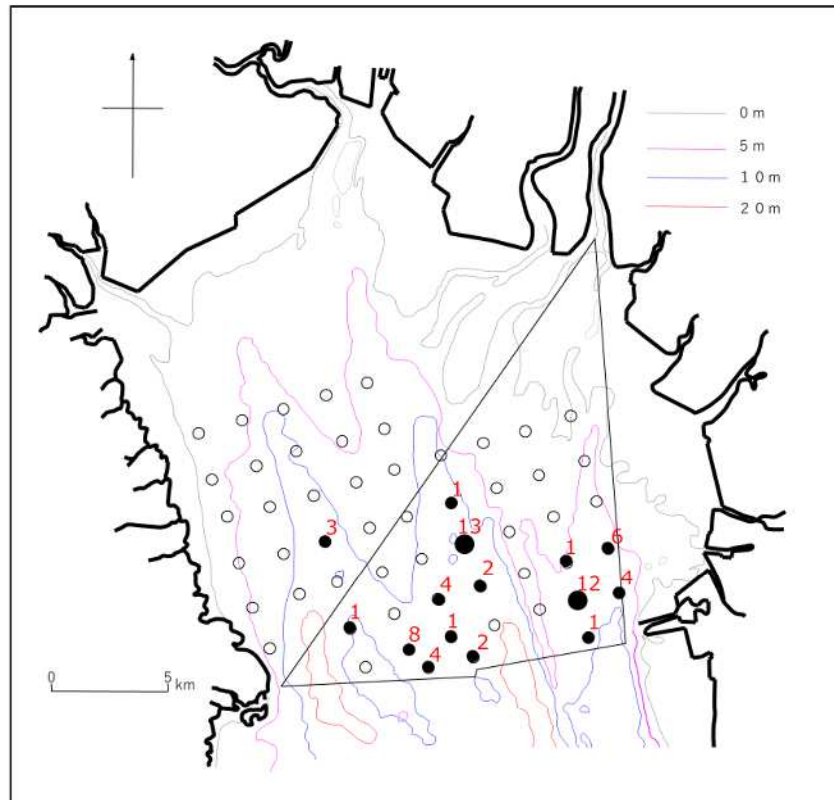


調査日：令和7年10月13～27日



タイラギ**成貝**生息密度（令和7年度55点調査）

図1 タイラギ成貝の生息状況



タイラギ稚貝生息密度（令和7年度55点調査）

図2 タイラギ稚貝の生息状況